

みんゆう 随想

羅曰岳山頂から近くて遠い北方領土を眺めると、感動が冷めてしまうのは異常な人格なのか？ 考えごとをしながらの岩場は滑落に直結するので、チャンネルを『温泉とお酒』に切り替え黙々と下山開始。雪渓は2本のストックと靴だけの山スキースタイルで大幅に時間を短縮しました。

途中の水場で、千葉の退職男と秋田の花と歌と山男（自称）と意気投合し、かしまし爺おやの山談議が始まり、未登である百名山の貴重な情報をたくさん仕入れました。暫くすると話題

渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング
代表取締役



が錯綜し、誰にも話せないって交通ルールも国際的な怪しげな体験談、家族の自慢や奥さんの不満話など、知らぬ同士が異国で解放感をお喋りは、ストレスの無い別天地そのものでした。予定時間より1時間早く登山口に到着し、早速近く

の露天風呂にザブン。なんに冷水ではないか。上流の湯船に移動したら僅かに温かく、さらに移動したが温泉にはほど遠い。無料と混浴に目が眩んだ自分が悪いと、反省しながら思い出知床五湖に移動しました。

7月17日、1番登頂を目指す。五湖の探索木道は、なぜか左側通行。世界遺産にな

って交通ルールも国際的な心の注意をはらい、行動開始。約1時間で旧道と新道コースとの分岐に到着し、一息入れて沢登りにチャレンジ、名のある滝がワカ所、沢を横断すること大小35回でカウントを諦め、方向目印が見つからず暫し足止めが数回、昨日の羅曰岳に比較して少し楽観していたがとんでもない悪路で、下りだったら最悪、帰りは新道コースに決定。

山に魅せられて5

の露天風呂にザブン。なんに冷水ではないか。上流の湯船に移動したら僅かに温かく、さらに移動したが温泉にはほど遠い。無料と混浴に目が眩んだ自分が悪いと、反省しながら思い出知床五湖に移動しました。

7月17日、1番登頂を目指す。五湖の探索木道は、なぜか左側通行。世界遺産にな